

鶴岡アートフォーラム
ワークショップ

“集めることがアートになる？”

～アーティスト太田三郎とともに～

会場：鶴岡アートフォーラム

会期：2008(平成20)年7月6日(日)・11月3日(月・祝)
2日間

この度、鶴岡アートフォーラムは、ワークショップ“集めることがアートになる？”を開催いたします。

ワークショップでは、アーティスト太田三郎氏と参加者がコラボレーションし、作品制作をします。

太田氏は1950年鶴岡市(旧温海町)生まれ。「時間」や「場所」の記録、コミュニケーションをテーマに作品を制作し、全国的に活動しているアーティスト。また、ワークショップや一般市民との共同制作など、幅広い活動を行なっている。

ボタン、輪ゴム、コルク、使用済みライター…。きつとどなたでも、生活のなかで何となく(捨てられなくて)集めてしまったもの、意識して集めているものがあるはずです。そんな収集物を素材として、各人の中に眠っている収集癖に向き合い、アーティスト太田三郎と一緒に参加者がコレクション・アートを制作します。

ワークショップの成果は来年度の春、鶴岡アートフォーラム主催の太田三郎展覧会で公開します。

*このワークショップでは、参加者がアーティストとの作品制作のコラボレーションを通して、従来からの作品鑑賞以外に、アーティストとの交流によって普段とは違った視点から作品を捉える機会として計画しています。

997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3

T/0235-29-0260 F/0235-22-6051

鶴岡アートフォーラム(お問い合わせ：那須、山岸)

主催：鶴岡アートフォーラム／鶴岡市教育委員会

●ワークショップ

“集めることがアートになる？”

～アーティスト太田三郎とともに～

【日時】2008年7月6日(日)・11月3日(月・祝)

両日とも14:00～17:00

【場所】鶴岡アートフォーラム内

【対象】一般(高校生以上)

【定員】25名(要申込)

【参加費】500円

【申込み】6月18日(水)より先着順

電話(0235-29-0260)

または来館受付(時間9:30～19:00)

【アーティスト】太田三郎(現代美術家)

【内容】

アーティスト太田三郎と参加者の共同制作により、作品を制作します。

ワークショップ1回目では、参加者が今まで収集してきたもの、またはこれから収集しようとするものについて、その理由や経緯を見つめなおし、ワークショップ2回目までの収集物の方向性について、アーティストとコミュニケーションをとりながら決める。

ワークショップ2回目では、作家の指導のもと、参加者が自身の収集物の発表方法を検討する。

このワークショップの成果は、来年度の春に、鶴岡アートフォーラム主催の特別展覧会「太田三郎展」(仮称)で公開します。

■アーティストプロフィール

太田 三郎（おおた さぶろう）

1950 年山形県鶴岡市（旧温海町）生まれる。
1971 年鶴岡工業高等専門学校機械工学科卒業。

日本を代表する現代美術家。「時間」や「場所」の記録、コミュニケーションをテーマに作品を制作し、全国的に活動している。

毎日のように郵便局へ出かけ、郵便切手に消印を押す《Date Stamps》は、1985 年に始まり現在も続けられている作品。消印に記された郵便局名と押印日時が、太田自身がその日その場所にいた存在の証明となる。

植物の種子を和紙に封入した切手作品《シード・プロジェクト》、太平洋戦争から帰らなかった日本人兵士や、中国残留日本人孤児、被爆した地蔵など戦争を題材にした、《Post War》シリーズなどでも知られる。

ワークショップや一般市民との共同制作など、幅広い活動を行なっている。

1994 年より岡山県津山市在住。

■下図版作品名

《Diary, 1 January 1986 to 1 January 1987》

1 日 1 ページ対応の日記帳。この全ページに、太田三郎氏が 1 年かけて訪ねた各地の郵便局の消印が押されています。太田三郎氏がその日、どこで過ごしたかを記録したアート作品です。

